

公民科（政治・経済） 学習指導案

大阪府教育センター附属高等学校

1. 日時 平成30年11月26日（月）第6時限 13時50分～14時35分
2. 場所 本館2階 第3講義室
3. 対象者 第3学年 政治経済選択者（32名）
4. 単元名 「日本の平和主義と国際平和」
※使用図書：教科書『最新政治・経済』（実教出版）、資料集『政治・経済資料2018』（とうほう）

5. 単元の目標

- ・日本国憲法の三大原則のひとつである平和主義について、それが採用された歴史的背景や、その後の展開、またその今日的課題について学び、理解する。（知識・理解）
- ・平和主義との関連において現代の日本を取り巻く安全保障上の課題に関心を持ち、他の生徒と協力しながら学び、今後の平和主義のあり方について認識を深める。（関心・意欲・態度）
- ・今後の日本における安全保障と平和主義のあり方について考え、世界情勢の変化や憲法改正の問題も踏まえた上で判断し、自らの考えを表現する。（思考・判断・表現）
- ・平和主義に関連する様々な資料を読んだり、他の生徒と話し合ったりした上で、自らの考察を振り返る。（資料活用の技能）

6. 教材観

平和主義のあり方は、憲法改正や安全保障の問題とも深くかかわっており、民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者として今後の日本を担う生徒たちが主体的に取り組むべきテーマである。そのため、学習内容を正確に理解するとともに、得た知識が実生活で活用できるものとしなければならない。そこで、米朝首脳会談などの時事ニュースを用い、グループワークを通して現代の日本が置かれた安全保障上の課題への理解を深めさせる。その上で、生徒たちが良識ある公民として今後の平和主義のあり方を考え、自らの意見を持ち、表現できるようになることをねらいとする。

7. 生徒観

授業内容に興味を持ち、授業プリントに自らメモを書き入れながら授業を聞く生徒が多くいる一方で、なかなか意欲を持っていない生徒も見受けられる。ただし、グループワークにはクラス全体が意欲的に取り組む。これを踏まえて、基本的内容と発展的内容をバランス良く取り扱いながら、生徒が「考える必然性がある」ととらえられる問題を設定し、主体的に考察できるように促したい。

8. 指導観

平和主義について、説明内容を精選するとともに、視聴覚教材も活用しながら正確に理解させるようにする。授業プリントへの自主的な書き込みを積極的に評価し、生徒が主体的に学習に取り組めるように指導する。

9. 単元の評価規準

a 関心・意欲・態度	b 思考・判断・表現	c 資料活用の技能	d 知識・理解
平和主義のあり方についての関心を持ち、授業プリントに意欲的に取り組んだり他の生徒と協力したりしながら、理解を深めようとする。	平和主義の諸課題について、他者の意見を受け止めながら多面的・多角的に考察するとともに、自らの意見を表現することができる。	教科書や資料から平和主義に関する情報を読み取り、理解を深めたり他者と話し合ったりするために効果的に活用している。	平和主義に関する基本的な事項を理解し、日本国憲法の三大原則の一つに採用された歴史的背景やその後の展開について説明することができる。

*○必要に応じて評価する (指導に生かす評価)

◎全生徒を評価する (記録に残す評価)

10. 単元の指導と評価の計画 (全5時間)

時	学習内容	評価の観点*				主な評価規準・評価方法
		a	b	c	d	
第1時	5 日本の平和主義と国際平和 (1) 平和主義の確立 (2) 憲法第9条と防衛力の増強 (3) 日米安保体制			○	○	【c】 憲法前文や憲法第9条について内容を調べ、それを平和主義の内容として把握することができる。 【d】 平和主義が日本国憲法の三大原則の一つとなった経緯とその後の展開 (自衛隊や在日米軍の設置) について学び、理解している。
第2時	5 日本の平和主義と国際平和 (4) 平和主義をめぐる裁判 (5) 平和主義と政府解釈	◎			○	【a】 統治行為論について、授業プリントにメモを書き加えるなどしながら深く理解しようとしている。 【d】 平和主義をめぐる裁判や政府解釈についての知識を身につけている。
第3時	5 日本の平和主義と国際平和 (6) 冷静終結と平和主義 (7) 自衛隊の海外派遣 (8) 日米安保体制の変容	○		○		【a】 冷戦後の平和主義のあり方について、図解を用いるなどしながら深く理解しようとしている。 【c】 視聴覚教材をもとに、世界情勢の変化の中で日本の安全保障のあり方について考えることができる。
第4時	5 日本の平和主義と国際平和 (9) テロとの戦い (10) 日本の果たすべき役割 (11) これからの安全保障体制	◎	○			【a】 他の生徒と協力しながら、日本を取り巻く安全保障上の課題について考え、得た情報を授業プリントに書き込んでいる。 【b】 憲法改正について、平和主義の観点から「賛成」「反対」のいずれかの立場で意見を述べることができる。
第5時 本時	5 日本の平和主義と国際平和 (12) 米朝首脳会談 (13) 21世紀の平和主義	○	○			【a】 米朝首脳会談などの時事ニュースに関心を持ち、21世紀の平和主義のあり方について、他の生徒と協力しながら、考えを深めようとしている。 【b】 グループワークを通して、朝鮮戦争休戦以来の米朝首脳会談の歴史的意義と日本の安全保障にもたらす影響を考察し、自らの考えを表現することができる。

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・今年6月の米朝首脳会談の歴史的意義を考える。
- ・米朝首脳会談が日本の安全保障にもたらす影響を踏まえ、今後の平和主義のあり方を考える。

(2) 本時の評価規準

- ・【a】 米朝首脳会談などの時事ニュースに関心を持ち、21世紀の平和主義のあり方について、他の生徒と協力しながら、考えを深めようとしている。
- ・【b】 グループワークを通して、朝鮮戦争休戦以来の米朝首脳会談の歴史的意義と日本の安全保障にもたらす影響を考察し、自らの考えを表現することができる。

(3) 本時の準備物

- ・教科書、資料集、ワークシート

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
5分 導 入	本時の目標確認	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の米朝首脳会談の様子を伝える新聞記事を提示し、歴史的な出来事であったことを確認する。 ・米朝首脳会談を受けて1学期には朝鮮戦争が日本の経済面にもたらした影響を考えたが、今回は朝鮮戦争が政治面にもたらした影響と、米朝首脳会談が今後の日本の安全保障に与える影響について考えることを伝える。 	

8分 展開 1	グループワーク 1	<ul style="list-style-type: none"> 机と椅子を移動し、4～5人ずつのグループをつくり、資料を配る。 資料は4種類用意し、グループ内でどの資料を担当するか決めさせる。 グループ内で各自が担当する資料を読み、ワークシートの該当箇所を埋めるように指示する。 	【a】 米朝首脳会談などの時事ニュースに関心を持ち、21世紀の平和主義のあり方について、他の生徒と協力しながら、考えを深めようとしている。
7分 展開 2	グループワーク 2	<ul style="list-style-type: none"> 担当する資料が同じ者どうしを集め、新たなグループをつくる。 新たなグループ内でお互いのワークシートの記述内容を発表しあい、補いあうように指示する。 	【a】 米朝首脳会談などの時事ニュースに関心を持ち、21世紀の平和主義のあり方について、他の生徒と協力しながら、考えを深めようとしている。
20分 展開 3	グループワーク 3	<ul style="list-style-type: none"> 元のグループに戻し、各担当者が調べた内容を順次発表し、グループ内で共有させる。 共有した情報を元に、各自でワークシートの設問に解答させる。 数名の生徒に解答例を発表してもらう。 	【b】 グループワークを通して、朝鮮戦争休戦以来の米朝首脳会談の歴史的意義と日本の安全保障にもたらす影響を考察し、自らの考えを表現することができる。
5分 ま と め	本時の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 机と椅子を元に戻す。 本時の振り返りを行い、学習内容を確認させる。 	

「観点別評価の判断基準」の設定

判断基準 評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 指導の手立て
【b】	朝鮮戦争が日本にもたらした政治的影響を説明できるだけでなく、6月の米朝首脳会談の歴史的意義を理解し、今後の日本の安全保障のあり方について自らの意見を述べる事ができている。	朝鮮戦争が日本にもたらした政治的影響を説明できるだけでなく、6月の米朝首脳会談の歴史的意義を理解している。	グループワークで学び合いの時間を作り、資料や他者の意見を参考に朝鮮戦争や米朝首脳会談の影響を捉え、考えをまとめる機会を設ける。

